文字にすべきところを大衆の間で具体化すべきである。たとへば「ファッショは未だ農民政策を持ってゐない」が、ファッショ化した日本農民組合や置きかへられた農民統同盟の政策と裏切りなら具体的に農民大衆に知らせることが出来る。こうした具体的バクロを通じて農民をファッショ反対合同反対にまで導くべきで個人的なバクロは時と所とを考へ政治的にやらなければいけない。

徳島―社民ファッショ党の基礎工事を素破マイタところで全農を混乱せしめるやうなことはなり。

本部―反にそうであっても今は最も深重に重動すべきである。青年部の指令などは政治的に考慮すべきであった。

高知―社民は赤松に喰ひ荒された社会ファッショであれないか、それと共同戦線を張ることを主張する陰謀家はバリバリ暴露すべきだ。高知の全農は社民に愛想をつかした人々によって組織されたのだ。合同などは大衆が第一に承知しない。

和可山―よく鮮訳しても今度の合同論は机の上だけで階級斗争が出来ると考へてゐる人々の所産である。従って、よく鮮訳しても党中央部の信任がうすらぐことは免かれない。和可山は合同に直接の利害を持たないが反ファッショ斗争の立場から合同反対である。我々は断乎として、運動方針の変改を指摘し合同論を粉砕し常任部の日常斗争への活溌なる参加と展開を支持団体として要求すべきである。

大阪―我々は従来から日常斗争に対する党の不親切を指摘してゐるのである、十五人もの常任がゐてこれといった仕事もなされてゐないではないか、これから大衆政党不必要論が生じて来るのだ、血気な青年であればそうなるのが当り前ではないか、言ふまでもなくウルトラといふ言ひ方が間違ってゐる。

兵庫―全農関係は大部分反対である。只ファッショの活躍の上に合同に対する反対賛成が党内に渦巻き返ってゐるので全農県聯も苦しく政治的立場から態度表明をさしかへてゐる。しかし淡路と連絡をとって近く反